

2018年度第2四半期 決算説明会資料

JT Group CFO 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。
※用語の定義については、スライド13、14に記載しております。

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

上期は堅調な実績

(億円, %)	2018年上期	vs. 2017
為替一定ベース		
調整後営業利益	3,243	+3.1%
財務報告ベース		
売上収益	10,753	+2.9%
調整後営業利益	3,178	+1.0%
営業利益	3,023	-3.5%
四半期利益	2,161	-4.2%

為替一定調整後営業利益

海外たばこ事業での好調なパフォーマンスを主因に利益成長

財務報告ベース

- 売上収益

海外たばこ事業における買収効果およびプライシングにより増収

- 調整後営業利益

為替は不利に影響するも増益

- 営業利益、四半期利益

買収に係る償却費の増加および前年の一時的な増益要因がなくなったことを背景に減益

為替一定調整後営業利益の目標に変更なし 当期利益は為替レートの見直しを主因に下方修正

(億円, %)	2018年 修正見込	対当初見込 増減	vs. 2017
為替一定ベース			
調整後営業利益	6,070	-	+3.7%
財務報告ベース			
売上収益	22,400	+200	+4.7%
調整後営業利益	5,860	-140	+0.1%
営業利益	5,410	-200	-3.6%
当期利益	3,770	-170	-3.9%

為替一定調整後営業利益

当初見込に変更なし

財務報告ベース

- 売上収益

Donskoy社の買収および日本市場の総需要前提の見直しを織り込み上方修正

- 調整後営業利益

為替レート前提の更新に伴い下方修正

- 営業利益、当期利益

為替見直しを主因とし、買収に係る償却費の増加等も見込み下方修正

紙巻販売数量実績は想定ほど縮小せず Ploom TECH全国拡販は順調な滑り出し

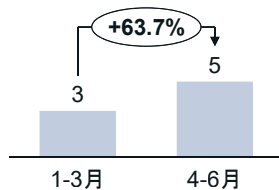
紙巻たばこ

- 上期の紙巻総需要は14.5%、JT紙巻販売数量は13.8%減少するも、当初想定ほどは下落せず
- 上期シェアは61.5%へ伸長（+0.5%pt）

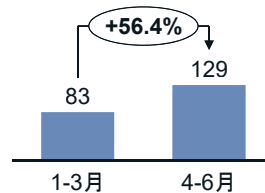
RRP

- RRP市場の成長スピードは緩やかながらも継続し、18年上期のRRP市場占有率*は20%程度へ
- Ploom TECH販売エリア拡大に伴い、4-6月のRRP販売数量及び関連売上収益は着実に伸長
- 7月からの全国コンビニエンスストアでのPloom TECH販売も順調にスタート
- カプセル製造能力の増強は計画通りに進捗

2018年RRP販売数量（億本）



2018年RRP関連売上収益（億円）



CVS**でのRRPカテゴリー内シェア:

4-6月：10%程度と推計

*出荷ベース

**展開エリアにおけるコンビニエンスストア

通期利益目標に変更なし

紙巻たばこ

- 紙巻総需要の前提は14%台後半の減少へ修正
（当初ガイダンス：17%台半ばの減少）
- JT紙巻販売数量前提を14%台前半の減少へ修正
→20億本強の上方修正
（当初ガイダンス：16%台後半の減少）

RRP

- RRP市場占有率*の見通しを通年22%程度へ修正
（当初ガイダンス：通年23%程度）
- 競争激化もあり、Ploom TECH 40億本の販売目標は、一層チャレンジングになるが変更しない

*出荷ベース

- 紙巻販売数量の上方修正に伴い創出される利益をRRPへ再投資
→ 通年の利益目標に変更なし
- 一定の前提を置いて、増税時の紙巻・RRPの定価改定効果を織り込み済み

RRPにおけるリーディング・ポジション獲得に向けて

- **中長期的にRRP市場は拡大を継続**

足もとの成長スピードはやや緩やかではあるが、2020年の市場占有率30%の見立てに変更なし

- お客様ニーズをよりの確に捉えた製品の上市
- 改正健康増進法等において、加熱式たばこは紙巻たばこより緩やかな規制となっている

- **2020年末までにカテゴリーシェア40%獲得を見据えた取り組み**

- 先ずは、JT独自の「低温加熱」カテゴリーの確立、Ploom TECHの成功を確かなものとするべく、今期の投資を追加的に増強
- RRPポートフォリオ拡充の準備を着実に推進

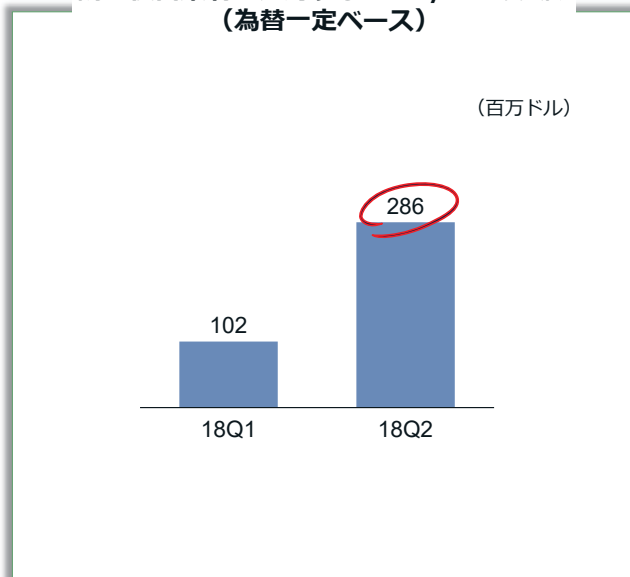
- **変化の激しい市場環境への適切な対応**

- 競争による新製品投入・販促活動の影響
- 受動喫煙規制に伴う影響

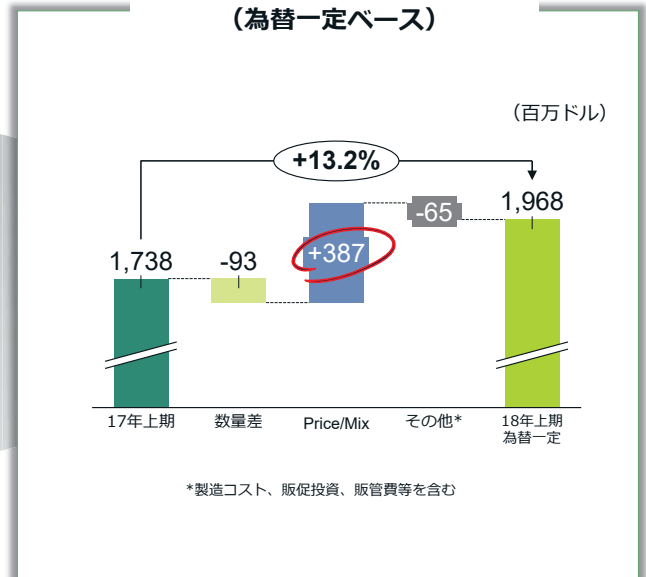
海外たばこ事業（実績）

プライシング効果拡大、トップライン成長による利益増

調整後営業利益に対するPrice/Mixの貢献
(為替一定ベース)



調整後営業利益ロードマップ
(為替一定ベース)



通期利益成長の達成に自信

(百万米ドル, %)

	2018年 修正見込	対当初見込 増減	vs. 2017
為替一定ドルベース			
自社たばこ製品 売上収益	11,500	+150	+9.5%
調整後営業利益	3,600	-	+14.7%*
財務報告ドルベース			
自社たばこ製品 売上収益	11,630	+130	+10.8%
調整後営業利益	3,500	-100	+11.5%

* 前年下期に発生した一時的な損失を除けば約8%の成長

- Donskoy社買収効果を織り込み、数量・売上収益を上方修正
- 為替一定調整後営業利益は当初見込から変更なし
 - イランでの不透明な状況を反映
 - 事業投資は下期に集中

2018年 販売数量修正前提

- 総販売数量：対前年5%強の増加
(当初ガイダンス：約4%の増加)
- GFB販売数量：対前年1%強の増加
(当初ガイダンス：約2%の増加)

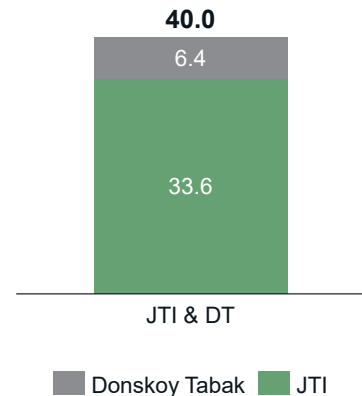
ロシア：プライシング効果が着実に発現、買収によりNo.1ポジションを強化



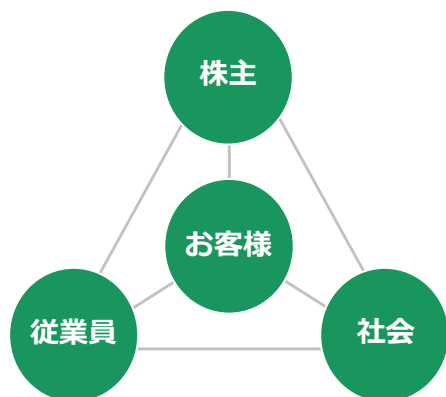
ロシア

- プライシングを着実に実施し、海外たばこ全体の利益成長に大きく貢献
- Winston及びLDが牽引し、GFBシェアは過去最高を記録
- Donskoy社買収は7月31日完了
 - ポートフォリオを拡充するとともにロシアにおける流通販売網を補完
 - Donskoy社を加えたシェアは約40%となり、市場No.1ポジションを更に強化

12ヶ月移動平均シェア (%)



事業投資を推進しつつ、通期目標の達成を目指す



- 2018年上期は為替一定ベースで増益
 - 好調な海外たばこ事業が牽引
 - 国内たばこ事業では、Ploom TECH全国拡販が順調な滑り出し
 - 医薬・加工食品事業は計画に対して順調に進捗
- 不透明な事業環境は続くものの、将来の利益成長に向けた事業投資を推進しつつ、通期目標の達成を目指す
- 一株当たり配当金は当初予想150円から変更なし
- 中長期に亘るMid to high single-digitの利益成長を目指す

(このスライドは空白です)

<用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定 調整後営業利益：	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
四半期利益・当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益・当期利益
Reduced-Risk Products： (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	2018年よりWinston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランドに変更（2017年まではWinston、Camel、MEVIUS、LD、B&H、Glamour、Sobranie、Silk Cut、Natural American Spiritの9ブランド）
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Reduced-Risk Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Reduced-Risk Productsの売上込み

<用語の定義>

為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益： (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこの販売本数（Reduced-Risk Products等を含む）
紙巻総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Reduced-Risk Products等は含まない）
紙巻販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Productsを除く、JT紙巻たばこの販売本数
RRP販売数量： (国内たばこ事業)	1パック当たり紙巻たばこ20本として換算（デバイス/関連アクセサリ等は含まない）
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Products関連の売上を含む
RRP関連売上収益： (国内たばこ事業)	国内たばこ事業における自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Productsの売上